◆◆ 種類別明細書（増加資産・全資産用）の記載例 ◆◆

〇令和7年1月2日～令和8年1月1日に取得した資産を記載してください。
（他の市町村から移動した資産や申告もれ資産も含みます。）
〇初めて申告される方は、令和8年1月1日現在の全資産を記載してください。

申告年度を記載してください。

令和 8 年度

所有者コード
本山町で付番された所有者コードを記載してください。
新規の場合は空欄で結構です。

所有者コード：00009999999

種類別明細書（増加資産・全資産用）

増加資産のみを申告する場合は「増加資産」、全資産を申告する場合は「全資産用」を〇で囲んでください。

所有者名：本山食品（株）

明細書の枚数と何枚目かを記載してください。

1 枚のうち 1 枚目

第二十六号様式別表一（提出用）

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価格（十億 百万 千 円）	耐用年数	減価残存率	価格（十億 百万 千 円）	課税標準の特例 率	コード	課税標準額（十億 百万 千 円）	増加事由	摘要
01	1		本社工場敷地フェンス	1	5	7	4	2 555 200	10						1・2・3・4	
02	1		広告塔	1	5	7	4	4 821 000	20						1・2・3・4	
03	2		小型アキュームコンベア	1	5	7	4	920 600	8						1・2・3・4	
04	2		洗浄機	1	5	7	4	6 640 000	8						1・2・3・4	R7.4 〇〇町から
05	6		パソコン	1	5	7	12	175 000	4						1・2・3・4	
06	6		コピー機	1	5	7	12	963 000	5						1・2・3・4	
07	6		食器洗浄機	1	4	30	4	770 000	6						1・2・3・4	申告もれ
08															1・2・3・4	
09															1・2・3・4	
10															1・2・3・4	
11															1・2・3・4	
12															1・2・3・4	
13															1・2・3・4	
14															1・2・3・4	
15															1・2・3・4	
16															1・2・3・4	
17															1・2・3・4	
18															1・2・3・4	
19															1・2・3・4	
20															1・2・3・4	
			小計	7				16 844 800								

この欄は記載不要です

資産の種類
1 構築物
2 機械及び装置
3 船舶
4 航空機
5 車両及び運搬具
6 工具器具及び備品

資産の名称等
該当資産の名称、規格等を資産の種類順に記載してください。

数量
資産の数量を記載してください。

取得年月
年号は下記のとおり、和暦で記入してください。
2…大正
3…昭和
4…平成
5…令和

取得価格
資産を取得するために要した費用（引取運賃・運送保険料・購入手数料・据付費等の付帯費含む。）を記載してください。
※圧縮記帳不可
※消費税の取扱い
・税込経理方式 → 取得価格に含める
・税抜経理方式 → 取得価格に含めない

耐用年数
該当資産に適用する耐用年数を、法定耐用年数（「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」別表）に基づいて記載してください。
※見積耐用年数により償却している中古資産は、その耐用年数を記載してください。
※短縮耐用年数により償却している資産は、国税局長の承認通知書の写しを添付し、その耐用年数を記載してください。

参照：手引き11ページ

減価残存率～課税標準額
電算処理による申告を行う方のみ記入してください。
それ以外の方は記入不要です。

増加事由
該当する番号を〇で囲んでください。
1 新品取得
2 中古品取得
3 移動による受入れ
4 その他

摘要
「申告もれ」や課税標準の特例の適用条項等、参考となる事項を記載してください。

小計
小計は申告書の「前年中に取得したもの（ハ）」の合計欄と同額になります。

資産の種類
構築物…… 1
機械及び装置…… 2
船　舶…… 3
航空機…… 4
車両及び運搬具…… 5
工具器具及び備品… 6

注意 ・「増加事由」の欄は、1 新品取得 、 2 中古品取得、 3 移動による
・年号→ 昭和…3、平成…4、令和…5